

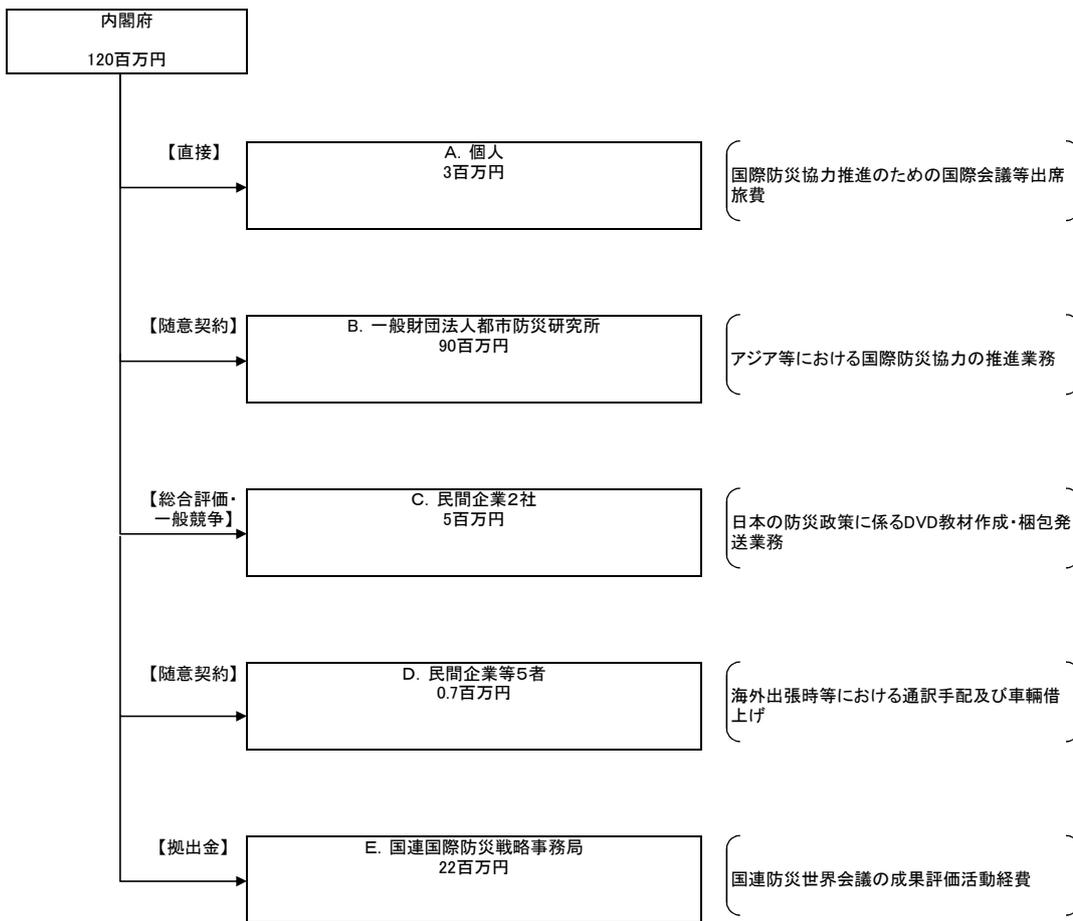
平成25年行政事業レビューシート

(内閣府)

事業名	国際防災協力の推進に必要な経費		担当部局庁	政策統括官(防災担当)	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	事業開始：平成10年度		担当課室	参事官(普及啓発・連携担当)	四日市 正俊		
会計区分	一般会計		政策・施策名	3 2 国際防災協力の推進(政策10-施策)			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	内閣府設置法		関係する計画、通知等	—			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国がこれまで幾多の災害を経験して培った知識・技術を活用し、国連世界防災会議の成果である「兵庫行動枠組」の着実な実施により、国際社会における災害被害を軽減し持続可能な開発に資するため、国連機関等との連携による国際防災協力の推進、アジア防災センターを通じた多国間防災協力の強化及び地域間協力等により、国際防災協力を積極的に推進する。また、東日本大震災の際の国際社会からの多大な支援に報いるため、得られた知見・教訓を国際社会との共有を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> 国際防災協力推進に資する国際会議等への出席 我が国を含むアジア各国の合意により1998年に設置されたアジア防災センターを通じたアジア地域における災害対応能力向上に役立つ情報共有、人材育成等の実施 国連国際防災戦略事務局(UNISDR)を通じた国際機関、地域機関の活動の支援等の実施 日中韓、日韓等の防災協力推進のため、会議等を通じた知見・教訓共有 						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算	164	158	135	177	180
		繰越し等	—	—	—	—	—
		計	164	158	135	177	180
	執行額	145	156	120	—	—	
	執行率(%)	88.7%	98.9%	88.9%	—	—	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	アジア各国の防災行政実務担当者に対する短期研修者数		成果実績	231	113	191	100
			達成度	%	231	113	191
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	アジア防災センターホームページアクセス数		成果実績	64,470	58,805	57,353	58,000
			達成度	%	113%	96%	94%
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	アジア防災センターのカントリーレポート更新数		活動実績 (当初見込み)	国	7 (8)	8 (8)	9 (8)
単位当たりコスト	1,563.2 (円/アジア防災センターホームページアクセス数)		算出根拠	事業全体のコストを算出することが困難なため、一般財団法人都市防災研究所(アジア防災センター)と契約した「アジア等における国際防災協力の推進業務」の決算額を、当該年度の同センターホームページアクセス数で割ることにより算出したもの。			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	職員旅費	12	16				
	災害関係調査費	122	122				
	国際防災戦略事務局拠出金	43	43				
	計	177	180				

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
必要投入の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	我が国がこれまで幾多の災害を経験して培った知識・技術を活用し、国際社会における災害被害を軽減し持続可能な開発に資するため、国際防災協力を積極的に推進してきた。また、東日本大震災の際の国際社会からの多大な支援に報いるため、得られた知見・教訓を国際社会との共有を図ることが重要と認識。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	一般競争入札案件については、予定価格の精査を行っており、少額随意契約案件についても、仕様内容について十分に検討する等、適切な執行を図っている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	東日本大震災を受け、海外で開催される国際会議への出席、国内での国際会議の開催等、我が国が得た知見・教訓を国際社会との共有を図った。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	東日本大震災を受けて得られた知見や教訓、災害に強い強靱な社会の構築に向けた取組を国際社会と共有していく必要があり、我が国政府として国際防災協力の推進を図ることの重要性はより高まっている。予算執行において、上記の「評価」欄のとおり、適切な執行を実施しているところであるが、原則、一般競争入札を採用し、透明性・競争性の確保を図り、少額随意契約については、複数社からの見積もりを徴取する等の取組を引き続き実施していくことで、今後も効率的な予算執行に努めていく。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、契約における競争性の確保などにより、予算の効率的執行に留意すべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	今後も効率的な予算執行に努めながら、国際防災協力の推進を図ってまいりたい。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0059	平成23年	0059	平成24年	0066

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・用途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックごと
 に最大の金額が
 支出されている者
 について記載す
 る。費目と用途の
 双方で実情が分
 かるように記載)

B.一般財団法人都市防災研究所					
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
人件費	研究者	52			
借料及び賃料	会議場、会議場機材等借上げ	12			
一般管理費	管理部門にかかる経費	8			
外国旅費	研究者及び招へい者の外国旅費	7			
雑役務費	翻訳料、通訳料等	4			
国内旅費	研究者の国内旅費	2			
賃金	事務補助員の賃金支払い	1			
印刷製本費	報告書、会議のプログラム等の印刷製本	1			
通信運搬費	海外及び国内の郵便料	0			
その他	消費税	4			
計		90	計		
C.(株)MEG毎日映画社					
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
企画費	構成・監修・翻訳等に係る費用 プロデュース・ディレクター料	1			
制作費	技術者、出演者、機材・消耗品等に必要な費用	2			
製作諸費	ジャケットデザイン、説明書印刷等	1			
計		4	計		
E.国連国際防災戦略事務局					
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
拠出金	国連国際防災戦略事務局への拠出金	22			
計		22	計		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計			計		

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人a	外国旅費	0.6	—	—
2	個人b	外国旅費	0.5	—	—
3	個人c	外国旅費	0.4	—	—
4	個人d	外国旅費	0.4	—	—
5	個人e	外国旅費	0.3	—	—
6	個人f	外国旅費	0.3	—	—
7	個人g	外国旅費	0.1	—	—
8	個人h	外国旅費	0.1	—	—
9	個人i	外国旅費	0.1	—	—
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般財団法人都市防災研究所	アジア等における国際防災協力の推進業務	90	随意契約	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)MEG毎日映画社	日本防災政策に係るDVD教材の作成業務	4	3	59%
2	カンタムソリューションズ(株)	日本防災政策に係るDVD教材の梱包発送	0.8	8	34%

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	PT. JAC Business Center	内閣府副大臣出張中における通訳業務	0.3	—	—
2	PT. SELNAJAYA PRIMA	内閣府副大臣出張中における通訳業務	0.2	—	—
3	個人j(職員立替払い)	内閣府副大臣出張中における車輛借上げ	0.07	—	—
4	個人k(職員立替払い)	内閣府参事官出張中における通訳業務	0.06	—	—
5	(株)テンナイン・コミュニケーションズ	内閣府特命担当大臣(防災)と国連事務総長特別代表(防災担当)とのハイ 会議における通訳業務	0.05	—	—

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国連国際防災戦略事務局	国連防災世界会議の成果である兵庫行動枠組の実施とフォローアップを中心 的な役割を担う国連国際防災戦略事務局への拠出金	22	—	—